

北陸情報通信協議会イノベーション部会 第19回会合を開催

～ 令和6年度活動報告(案)、令和7年度活動計画(案)を承認 ～



第19回会合の様子

北陸情報通信協議会イノベーション部会は、令和7年3月6日（木）、ITビジネスプラザ武蔵とオンラインによるハイブリッド方式により、第19回会合を開催し、丹 部会長（北陸先端科学技術大学院大学 副学長 教授）の進行のもと、令和6年度活動報告（案）、令和7年度活動計画（案）について審議を行いました。

事務局から、令和6年度活動報告（案）として「北陸地域ICTイノベーションセミナー2024」を実施したこと等が報告されました。また、令和7年度活動計画（案）として、引き続き、「北陸地域の特徴を活かしたDX推進に向けての技術シーズによる課題解決、更にはDXの全国展開の推進」をテーマとして活動することとし、政府が進める「デジタル田園都市国家構想」や「新しい地方経済・生活環境創生（地方創生2.0）」によるデジタル化実装を推進すること等が提案され、活動報告（案）、活動方針（案）は承認されました。

続いて高岡ケーブルネットワーク(株) 深澤 氏から、「Wi-Fi HaLowでアンダーパス遠隔監視の実証」と題して、大雨時におけるアンダーパスの冠水による被害を防止するための遠隔監視システムに関する取り組み紹介がありました。

その後、丹 部会長から、「政府のデジタル実装に関する動向とプラットフォームの現状」と題して、「新しい地方経済・生活環境創生」についての動向及び異業種・分野間連携の考え方が示され、データ連携の重要性とデータ連携基盤のシステム構成図について、石川県の例をもとに説明がありました。

最後に、総務省北陸総合通信局からデジタル技術を活用した地域課題解決の取組を総合的に支援する「地域DX推進パッケージ事業」の紹介がありました。

今回の部会は、ハイブリッド方式での開催とし、会場15名、オンライン13名の計28名が参加しました。



イノベーション部会
丹康雄 部会長



高岡ケーブルネットワーク(株)
執行役員 事業統括本部長
深澤 浩氏